

平成 31 年 4 月 18 日 実施 （6 年生）

教科	国語	算数
本校平均	5 3	5 6
広島県平均	6 6	6 8

	結果から見えてきた重点課題	指導方法等の改善内容
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。</li> <li>○文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業のまとめや週末課題の作文などで書く条件を出す。 （3 文で、キーワードを入れてなど）</li> <li>○新聞（文章）を要約させる活動を取り入れる。 →チャレンジタイムなどを活用する。</li> <li>○文を分けることで自分だけでなく他者も読みやすくなり、内容が伝わりやすくなるというよさについて指導する。</li> <li>○2 文に分ける，1 文に直す学習を行う。（テスト・作文） →中学年から指導を積み重ねる必要がある。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式すること。</li> <li>○小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文→図→立式という学習の流れを授業の中で指導していく。</li> <li>○文の必要な部分と図を色でリンクさせながら問題の意味を理解させる。</li> <li>○もとの数の理解をさせるために、小数や分数で表した数を言葉で説明させる。 →分数なら 1 を●に分けた▲分など</li> <li>○単位量を意識させたり、線分図をかかせたりする活動を授業に取り入れる。</li> </ul>